

# 川西町新庁舎整備基本計画 ＜資料編＞

## 目 次

1	新庁舎整備に係る経過・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	川西町新庁舎整備検討委員会設置要綱及び委員名簿・・・・・・・・	2
3	川西町新庁舎整備基本計画（案）に係るアンケート結果・・・・・・・・	4
4	川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る各地区説明会の開催概要・・・・・・・・	25

平成29年11月

山形県川西町

# 1 新庁舎整備に係る経過

## (1) 平成28年度

### ①庁内会議

名 称	開催期間	開催回数
川西町庁舎整備計画庁内検討会議	2月	1回
川西町庁舎整備計画庁内検討会議幹事会	2月	1回
川西町庁舎整備計画庁内プロジェクトチーム	2月～3月	5回

## (2) 平成29年度

### ①庁内会議

名 称	開催期間	開催回数
川西町新庁舎整備推進会議	4月～11月	16回
川西町新庁舎整備推進会議幹事会	4月～11月	18回
川西町新庁舎整備推進プロジェクトチーム	4月～10月	22回

### ②川西町新庁舎整備検討委員会

名 称	開催月日
第1回川西町新庁舎整備検討委員会	9月11日
第2回川西町新庁舎整備検討委員会	9月25日
第3回川西町新庁舎整備検討委員会	10月19日

### ③説明等

名 称	開催月日
小松地区西区自治会連合会研修会	5月18日
川西町大型プロジェクトに関する説明会（川西町商工会）	6月27日
新庁舎整備位置（案）に係る説明会（小松地区（西区・中区））	8月7日
新庁舎整備位置（案）に係る説明会（小松地区（南区・北区））	8月9日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る各地区説明会	9月28日～ 10月10日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る説明（地区センター長会）	11月1日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る説明（川西町農業委員会）	11月2日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る説明（白川土地改良区）	11月6日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る説明（山形おきたま農業協同組合）	11月7日
川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る説明会（川西町商工会）	11月10日

### ④町議会説明

名 称	開催期間	開催回数
総務文教常任委員会（協議会含む）	5月～11月	9回
産業厚生常任委員会協議会	5月	1回
新庁舎整備特別委員会小委員会	6月～10月	3回
議会全員協議会	5月～11月	8回

## 2 川西町新庁舎整備検討委員会設置要綱及び委員名簿

### 川西町新庁舎整備検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 川西町新庁舎整備の推進に対して意見及び助言等を得るため、川西町新庁舎整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について意見・助言等を行う。

- (1) 新庁舎整備の基本計画に関すること。
- (2) 新庁舎整備の設計に関すること。
- (3) その他新庁舎整備に関して必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は15名以内とし、次に掲げるもののうちから町長が委嘱する。

- (1) 自治組織の代表者等
- (2) 公益団体の代表者等
- (3) 学識経験者
- (4) 公募による者
- (5) その他町長が特に必要と認めた者

2 委員会は、必要な意見や助言を求めるため、専門的見識を有するアドバイザーを置くことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、平成31年3月31日までとする。

2 事故、その他の事由で、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会には委員長、副委員長各1名を置く。

2 委員長は町長が指名し、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、町長が任命する。

2 事務局に事務局長を置き、事務局長は町長が任命する。

(その他)

第9条 この要綱で定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、告示の日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の日以降、最初に開かれる会議は第6条の規定にかかわらず、町長が招集する。

(要綱の失効)

3 この要綱は、平成31年3月31日をもって効力を失う。

川西町新庁舎整備検討委員会 委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属	職 名	地区	備 考
委員長	長谷川潔美	山形県 産業技術振興機構	専務理事（兼） 事務局長		3号委員
副委員長	岡田清一	東北福祉大学	嘱託教授		3号委員
委員	山口徳夫	川西町自治会長連合会	会長	小松	1号委員
委員	星野廣志	川西町センター長会	会長	吉島	1号委員
委員	松浦衛	川西町商工会	会長	小松	2号委員
委員	山田順一	山形おきたま 農業協同組合	副組合長理事	玉庭	2号委員
委員	藤倉利英	川西町まちづくり 委員会	委員長	犬川	2号委員
委員	安部眞	川西町身体障害者 福祉協議会	会長	犬川	2号委員
委員	齋藤二男	川西町消防団	団長	大塚	2号委員
委員	菅美和子	川西町女性団体 連絡協議会	会長	玉庭	2号委員
委員	吉村広喜	公募		東沢	4号委員
委員	福島誠	公募		中郡	4号委員
委員	井上清人	青年代表		中郡	5号委員

### 3 川西町新庁舎整備基本計画（案）に係るアンケート結果

#### (1) 調査概要

##### ①目的

川西町新庁舎整備基本計画の策定にあたり、基本計画（案）に対するアンケートを実施することにより、新庁舎整備への町民の意向やニーズ等を把握し、基本計画へ反映するため

##### ②アンケートの方法

- ・基本計画（案）の概要及びアンケート用紙の配布  
自治会長の協力を得て、各世帯へ配布
- ・アンケート用紙の回収  
持参又は郵送による回収
- ・実施期間

平成29年9月22日（金）～平成29年10月13日（金）投函分まで

##### ③対象者

町内4,644世帯

##### ④データ数

配布数	回答数	回答率
4,644部	1,870部	40.3%

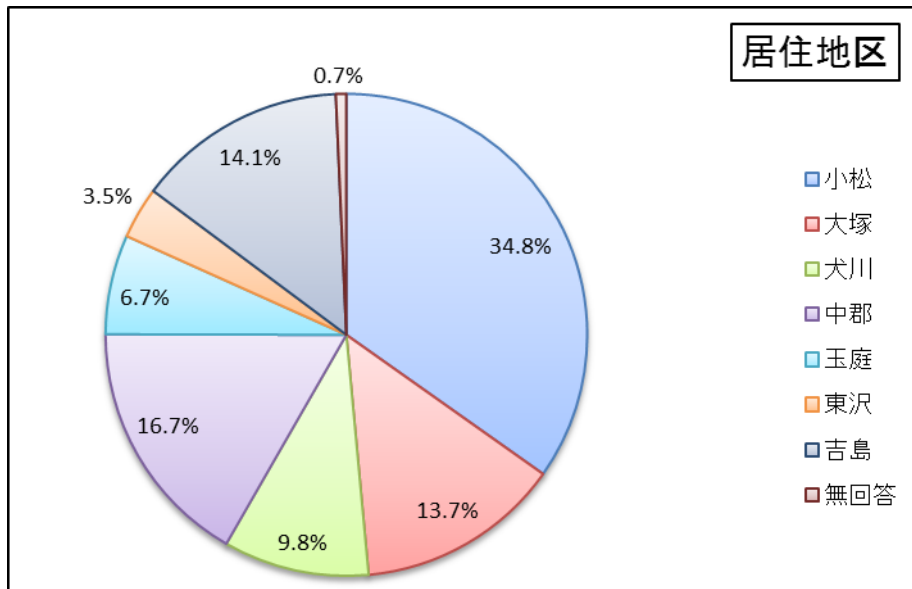
#### (参考) 地区別回答状況

	配布数	回答数	回答率
小松	1,595部	651部	40.8%
大塚	631部	257部	40.7%
犬川	422部	183部	43.4%
中郡	806部	313部	38.8%
玉庭	293部	125部	42.7%
東沢	180部	65部	36.1%
吉島	717部	264部	36.8%
無回答	—	12部	—
合計	4,644部	1,870部	40.3%

## (2) 回答者に係る基礎情報

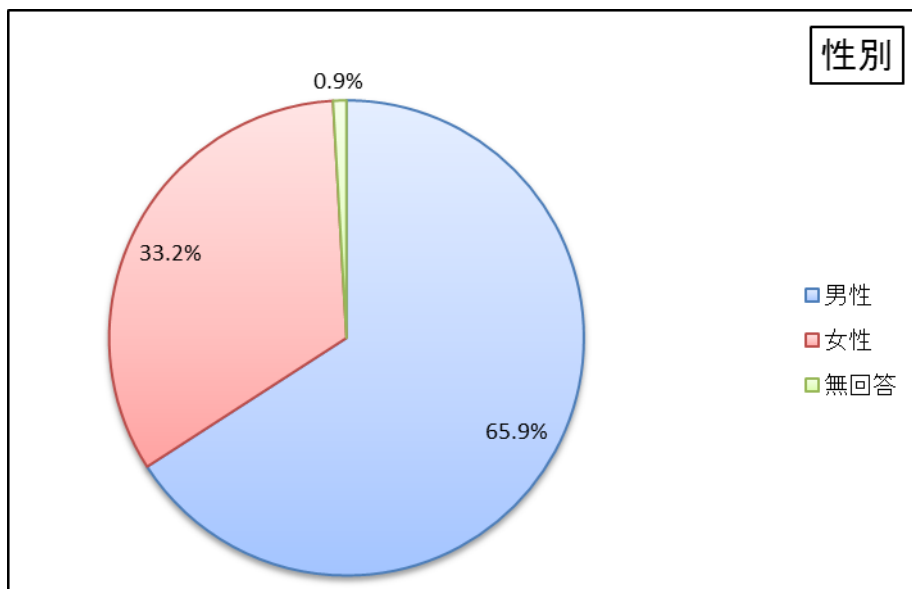
### ① 居住地区

回答者の居住地区は、「小松地区」が34.8%で最も高く、次いで「中郡地区」、「大塚地区」、「吉島地区」、「大塚地区」の順となっています。



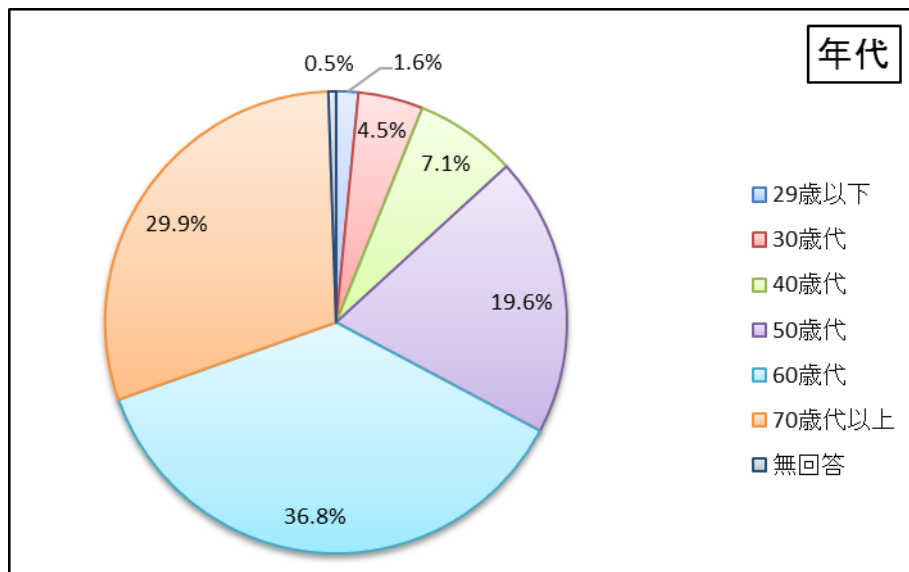
### ② 性別

回答者の性別は、「男性」が65.9%、「女性」が33.2%となっています。



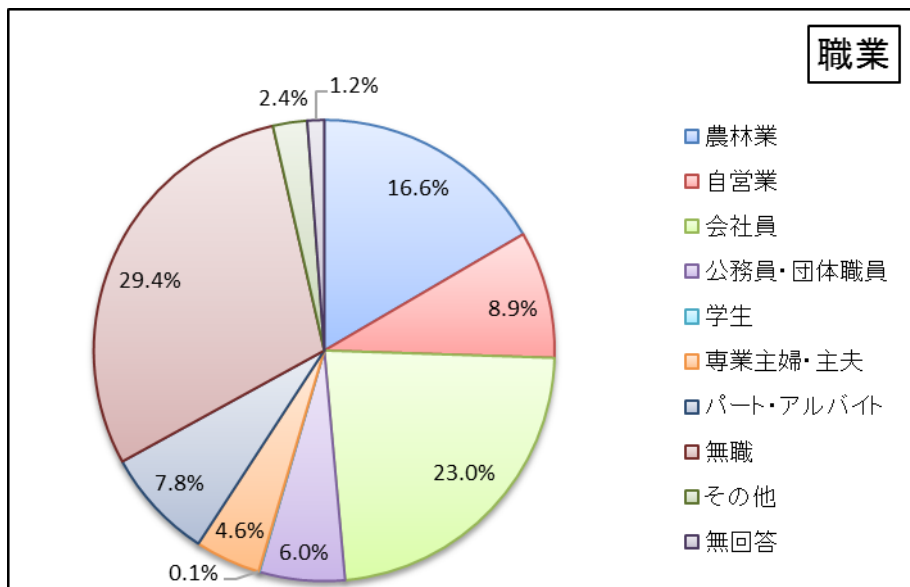
### ③年代

回答者の年代は、「60歳代」が36.8%で最も高く、「70歳代以上」と「50歳代」を合計すると、全体の86.3%を占めています。



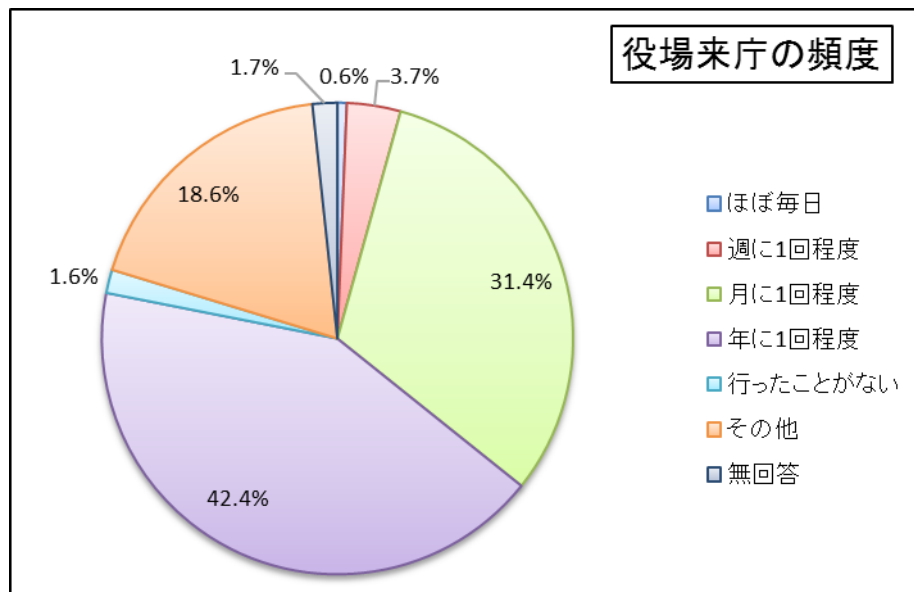
### ④職業

回答者の職業は、「無職」が29.4%で最も高く、次いで「会社員」、「農林業」、「自営業」の順となっています。



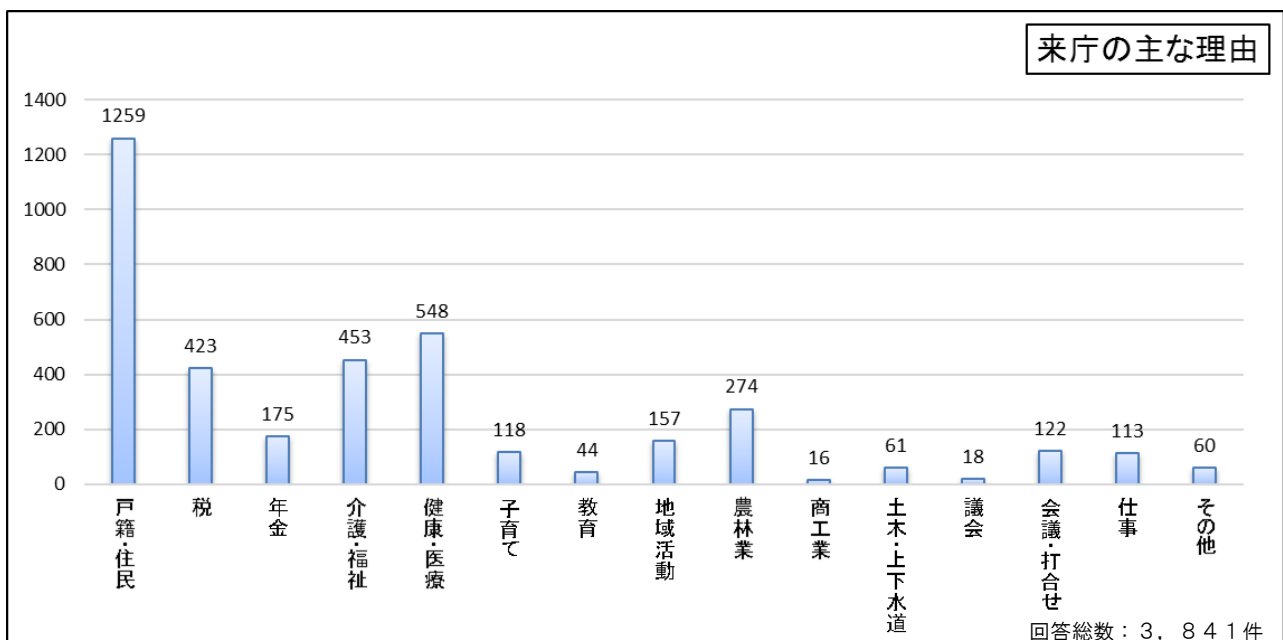
### ⑤ 役場来庁の頻度

回答者の役場来庁の頻度は、「年に1回程度」が42.4%で最も高く、次いで「月に1回程度」、「その他」の順となっています。



### ⑥ 来庁の理由（複数回答可）

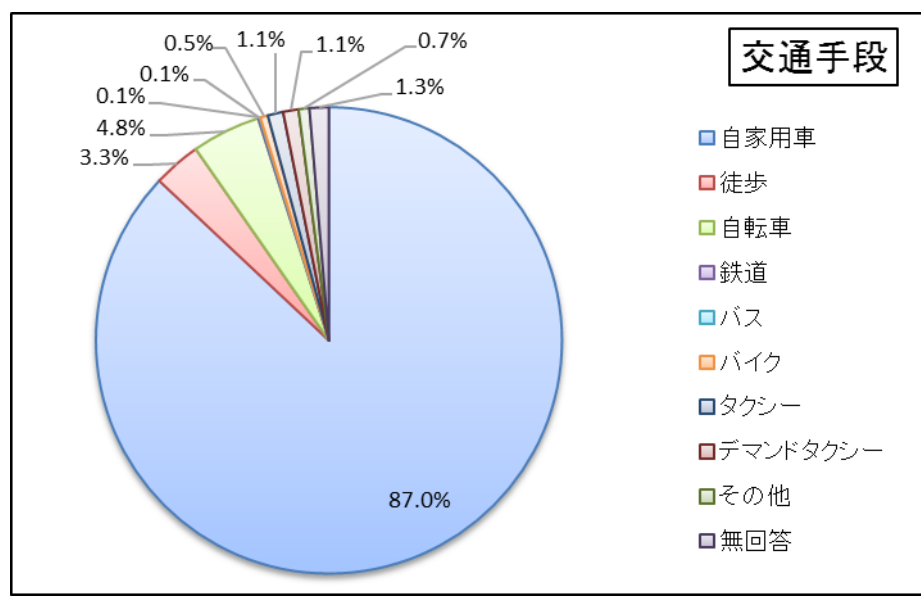
回答者が来庁する主な目的は、「戸籍・住民に関すること」が1,259人で最も多く、次いで「健康・医療に関すること」、「介護・福祉に関すること」、「農林業に関すること」の順となっています。





### ⑦交通手段

回答者の交通手段は、「自家用車」が全体の87.0%を占めています。

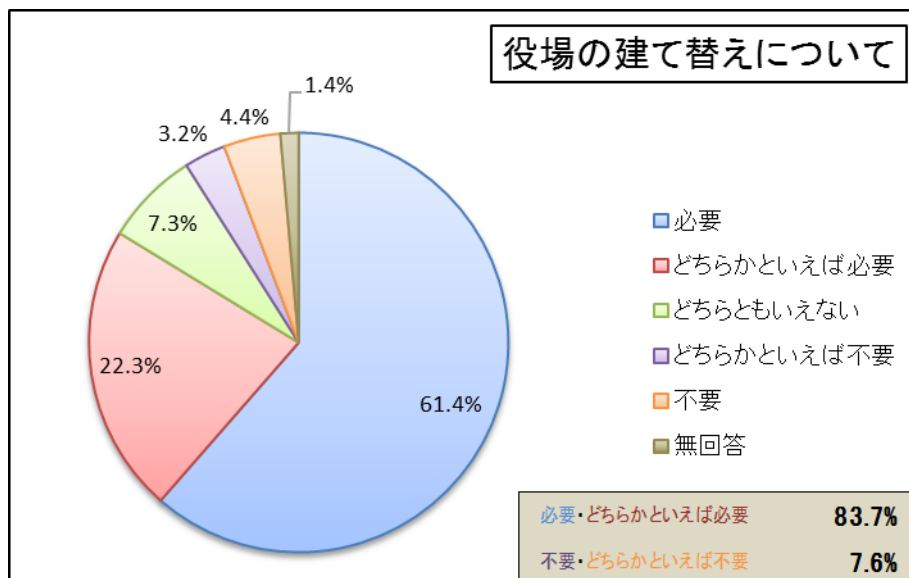


### (3) 設問への回答

問1 国の支援期間である平成32年度までに役場庁舎を建て替えることについてどう思われますか？該当するもの1つに○をつけてください。

役場の建て替えについての回答は、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計が83.7%となっています。

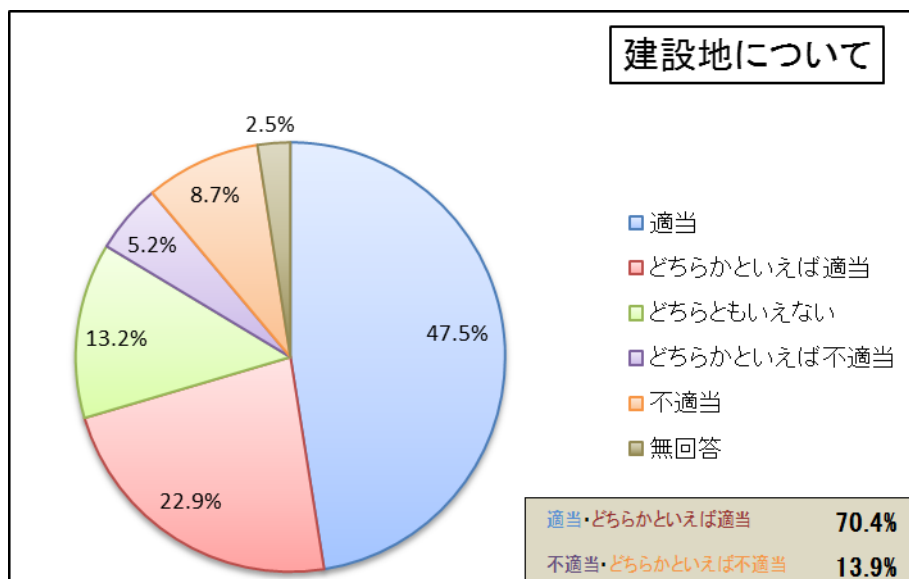
一方、「必要と思わない」と「どちらかといえば必要と思わない」の合計は7.6%となっています。



問2 「山形おきたま農業協同組合本店南側の隣接地」を建設地として選定したことについてどう思われますか？該当するもの1つに○をつけてください。

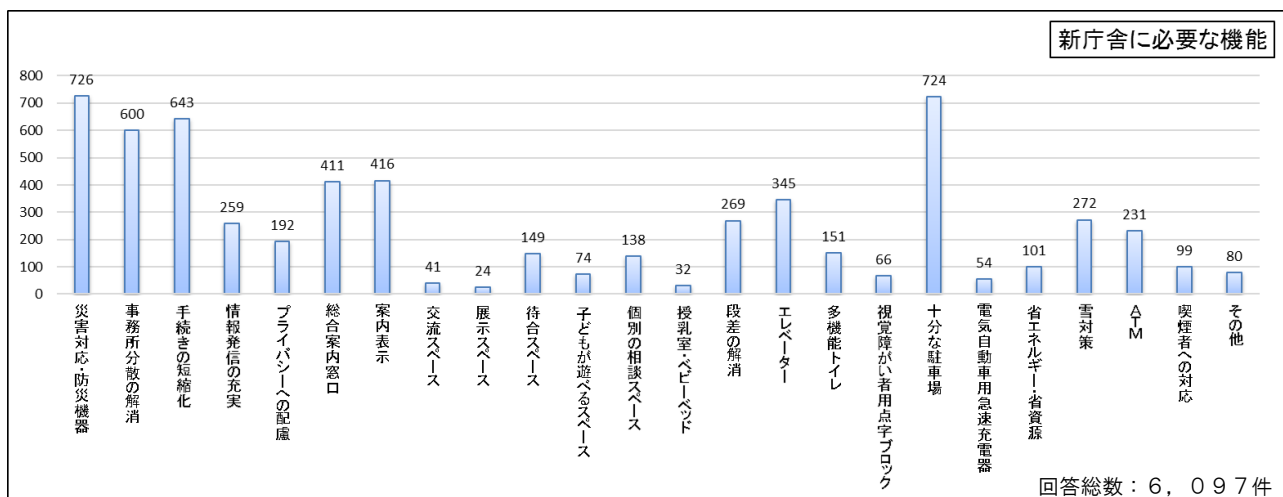
建設地についての回答は、「適当だと思う」と「どちらかといえば適当だと思う」の合計が70.4%となっています。

一方、「適当と思わない」と「どちらかといえば適当と思わない」の合計は13.9%となっています。



**問3 新庁舎の具体的な機能や設備について、何が必要だと思われますか？該当するものを3つ選んで○をつけてください。**

新庁舎に必要な機能や設備についての回答は、「災害対応・防災機器の充実」と「十分な駐車場の確保」がほぼ同数で最も多くなっています。次いで「手続きの短縮化」、「役場事務所分散の解消」、「分かりやすい案内表示」、「総合案内窓口」の順となっています。

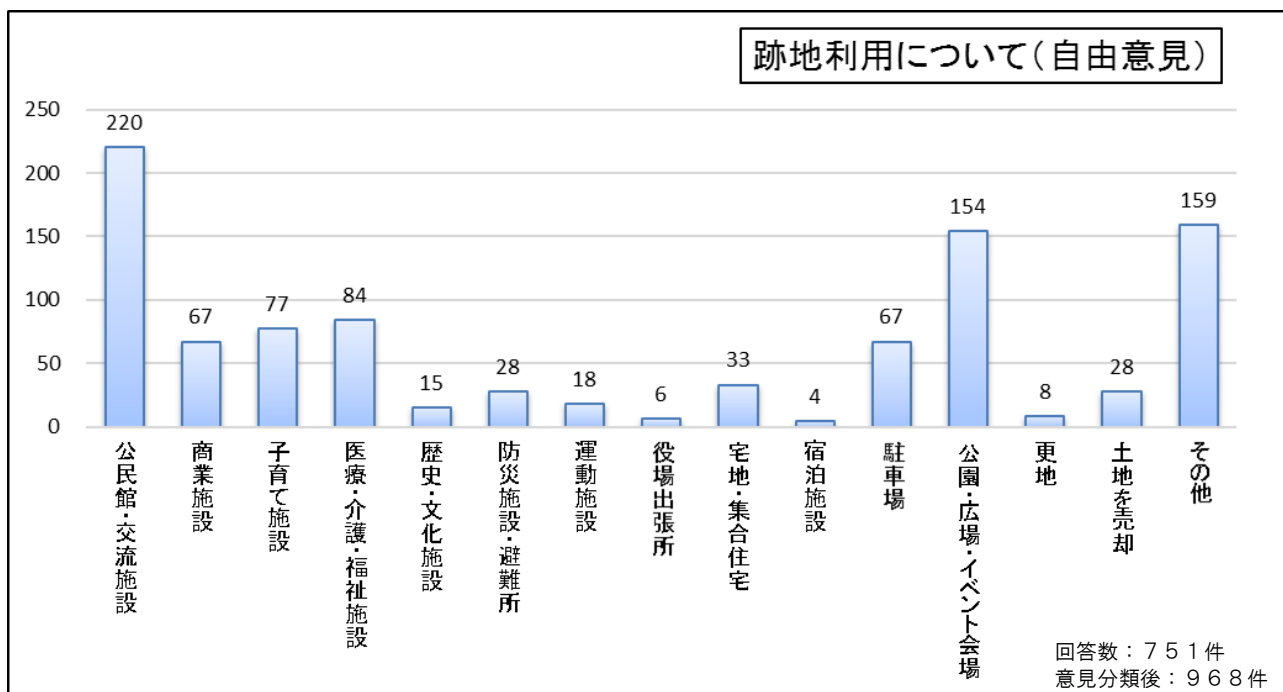


※3つより多くの項目を選択した回答があったため、回答総数は回答者数×3と一致しない。

**問4 現庁舎地の跡地利用について、ご意見をお聞かせください。(自由記入)**

現庁舎地の跡地利用に係る自由意見については、公民館や交流施設に関するご意見を最も多くいただいております。次いで公園や広場、イベント会場に関するご意見が多い状況となりました。

この他、医療・介護・福祉施設、子育て施設、商業施設、駐車場等のご意見を多くいただいております。



## (参考) 主なご意見

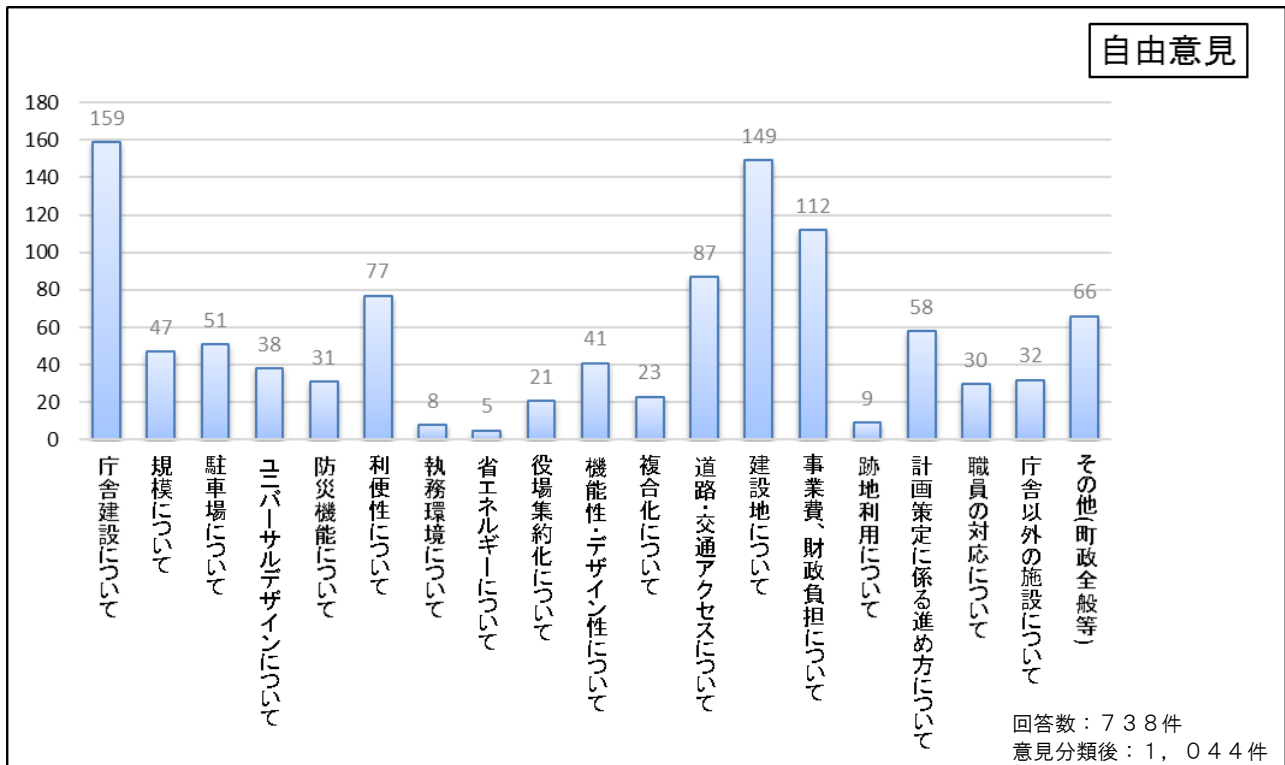
<p><b>【公民館・交流施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町民が集まれる「コミュニティセンター」のようなものが欲しい。</li><li>・ 小松地区交流センター・診療所・小松保育所などの複合型施設を建設してほしい。</li><li>・ 小松地区交流センターをもっと使いやすいよう整備し、各種会合等ができる部屋を作ってもらいたい。駐車場も広く、雪の心配がないようにしてほしい。</li></ul>
<p><b>【商業施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町が活性化するような大規模商業施設があるとよい。</li><li>・ 若い人が来れるような洋服屋、カフェ、100円均一、レンタル屋、くつ屋があると米沢まで行く事がないので便利だと思う。</li><li>・ 産直市など食品を買える場所が欲しい。</li></ul>
<p><b>【子育て施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼稚園・保育園を整備してほしい。</li><li>・ 子どもたちが遊べる所がとても少ないので、屋内スペースで遊べる場所を作るとよい。</li><li>・ 充実した子育て支援センターを作してほしい。学童保育等を併設しても良いと思う。</li></ul>
<p><b>【医療・介護・福祉施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 介護福祉施設もしくは医療機関、児童施設を整備してほしい。</li><li>・ 町民が集える場所、ひとり暮らしの人が安く入れる老人ホームがあるとよい。</li><li>・ 老朽化した川西診療所を移転してほしい。</li></ul>
<p><b>【防災施設・避難所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 災害時の避難場所にしてほしい。</li><li>・ 災害時の物品の備蓄等多目的に使えるようお願いしたい。</li></ul>
<p><b>【宅地・集合住宅】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 町営住宅の増設等に利用するとよい。</li><li>・ 分譲高層住宅を建設し、1階は商業施設を設置できるといいと思う。</li><li>・ 美女木ニュータウンのような宅地造成を行い、分譲売買で利用してはどうか。</li></ul>
<p><b>【駐車場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場にして、イベント等にも利用できるようにしてほしい。</li><li>・ 誰でも止められる駐車場になるように整備をお願いしたい。</li></ul>
<p><b>【公園・広場・イベント会場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ お祭り広場などとして跡地を利用したらいいと思う。</li><li>・ 子供たちが安心して遊べる公園や高齢者が集い語らえる場所を作してほしい。</li></ul>
<p><b>【土地を売却】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 更地で売却してはどうか。新たに町の施設（箱物等）は造らないでほしい。</li><li>・ 売却し多少なりとも財源に充ててほしい。</li></ul>
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学生のバス乗り場などがあれば安全で良いと思う。</li><li>・ 消防署の建て替え場所として利用した方が良い。</li></ul>

問5 その他、川西町新庁舎整備基本計画（案）全体について、ご意見をお聞かせください。（自由記入）

自由意見としては、問1及び問2に関連し、庁舎建設や建設地に係るご意見を特に多くいただきました。

この他、事業費や財政負担、道路・交通アクセス、利便性、計画策定に係る進め方へのご意見が多い状況です。

また、職員の対応など町政全般に対するご意見もいただきました。



## (参考) 主なご意見

### 【庁舎建設について】

- ・現在の古い建物では将来不安だから、新しい庁舎は必要だと思う。
- ・大賛成。早く役場ができる事を願う。
- ・建て替えるのには良い機会だと思う。利用しやすい役場となることを期待している。
- ・庁舎建設の前に、いかに人口減少を食い止めるかが先ではないのか。
- ・新庁舎にしても人口が増えるわけではない。現状で良いので町の活性化に予算を使う事を望む。
- ・住民減少の折、莫大な借金を後世に残すことは反対である。

### 【規模について】

- ・今後人口減少等が進むため、過大な施設とならないようにしてほしい。
- ・必要最小限の規模で建設してほしい。
- ・川西町の規模や税収など身の丈に合った建物で十分。

### 【駐車場について】

- ・雪が降っても安心して駐車できるようにしてほしい。
- ・駐車場は、十分なスペースを確保してほしい。
- ・260台も必要ないと思う。フレンドリープラザを使用すればよい。

### 【ユニバーサルデザインについて】

- ・健常者も障がい者も皆が利用しやすい新庁舎を希望する。
- ・大人がオムツ替えできるトイレが一つでは足りない。少なくとも各階に一つは欲しい。
- ・新庁舎は、段差が無い方が良いと思う。
- ・バス停やタクシー乗り場なども設置して、高齢者や障がい者に配慮した施設にしてほしい。

### 【防災機能について】

- ・十分な防災機能を持った庁舎となるよう進めてほしい。
- ・地震が来ても壊れないような建物になることを望む。
- ・有事の際、高齢者や障がい者等の安全を第一に考えた機能を備えてほしい。

### 【利便性について】

- ・役場に行った時に、町職員が全て見渡せるようなレイアウトにすべきだと思う。
- ・庁舎内に売店やコーヒーが飲める所が欲しい。
- ・総合相談窓口を設置してほしい。
- ・相談の際、現在の窓口はプライバシーがないと感じていたなので、改善してほしい。

### 【機能性・デザインについて】

- ・新庁舎にとってデザインは重要ではない。あくまで機能を優先に考えてほしい。
- ・町のシンボルとなるよう、品位のあるものにしてほしい。
- ・最近の建物は、設計者がデザインにこだわる結果、雪対策の不足や維持管理の難しさから経費が増大する傾向が見られるので、シンプルな建物がベストだと思う。

**【道路・交通アクセスについて】**

- ・羽前小松駅の西側と東側が行き来しやすい環境の整備が必要だと思う。
- ・羽前小松駅やフレンドリープラザに行きやすいよう横断歩道と押ボタン式信号をつけてほしい。
- ・駐車場入り口を西側だけでなく、東側からも入れるようにしてほしい。
- ・道路が狭く込み合うことが考えられるため、新庁舎周辺の道路も整備してほしい。

**【建設地について】**

- ・新庁舎の建設地は、将来性のある場所だと思う。
- ・付近にはフレンドリープラザをはじめ、公共施設、小中学校、羽前小松駅、J A山形おきたま本店がある。環境面に関しても最善の建設用地であると思う。
- ・今までよりも交通の便が良さそうだし、大変いいと思う。
- ・駅西側に人口が多いから、なるべく今と同じ位置に作って欲しい。
- ・今後人口が大幅に減少する中、箱モノはできるだけ最小限にすることが第1の条件である。現庁舎の場所でも十分スペースの確保は可能だと思う。
- ・新しく建てるのではなく旧第二中学校を利用することが望ましい。

**【事業費、財政負担について】**

- ・とにかく町民に負担のかからない方法で進めてほしい。
- ・お金を掛ければ良いわけではない。川西町の身の丈に合った金額で建てるべき。

**【計画策定に係る進め方について】**

- ・案は素晴らしいが、もっと早く情報を開示すべきだと思う。
- ・町民の一番身近な事なのに告知が遅すぎた。物事は町民を中心に考えてほしい。

**【その他】**

- ・役場の職員はサービス業ということをいつも忘れずにいてほしい。外形より内身（働く人）が大事だと思う。
- ・「町民にひらかれた」というのは、スペースや動線だけでなく、職員の意識や対応で、利用する町民が“ひらかれた”と感じるのではないか。

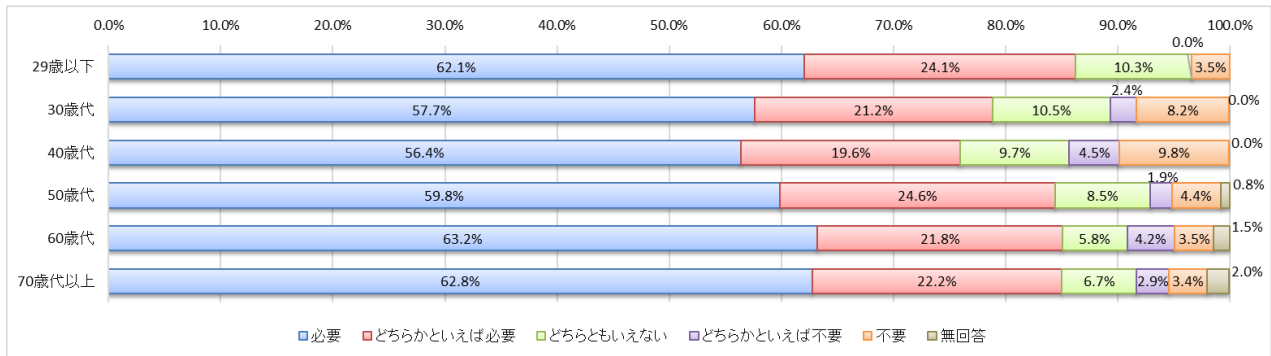
#### (4) 年代別集計（問1及び問2のみ）

##### ① 役場の建て替えについて

役場の建て替えについて、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計は29歳以下が86.2%と最も高く、次いで60歳代、70歳代以上の順となっています。

一方、「必要と思わない」と「どちらかといえば必要と思わない」の合計は、40歳代が14.3%と最も高く、次いで30歳代、60歳代の順となっています。

役場の建て替えについて(年代別)

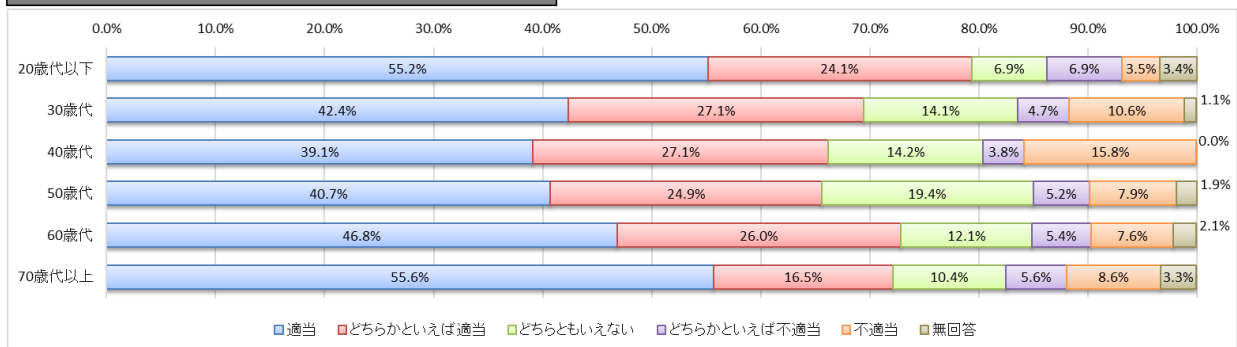


##### ② 建設地について

建設地について、「適当だと思う」と「どちらかといえば適当だと思う」の合計は29歳以下が79.3%と最も高く、次いで60歳代、70歳代以上の順となっています。

一方、「適当と思わない」と「どちらかといえば適当と思わない」の合計は、40歳代が19.6%と最も高く、次いで30歳代、70歳代以上の順となっています。

建設地について(年代別)





### (5) アンケートの信頼度と精度について

今回のアンケートでは、4,644部の配布数に対して1,870部の回答をいただき、回答率は40.3%となりました。

今回の回答数や回答率について、国の各種アンケートや世論調査等に用いられる、信頼度や許容できる誤差の範囲を算出する計算式に当てはめた場合、国において望ましいとされる値を上回る信頼度と精度を得る結果となりました。

このことから、町としては本アンケートの結果を通じて、新庁舎整備に対する町民の意向やニーズについて十分に得ることができたと捉えています。

(参考) 標本誤差の計算式 (信頼度95%の場合)

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 1.75\%$$

$\varepsilon$  : 標本誤差

N : 母集団数 (本アンケートでは4,644部)

n : 標本数 (回答数。本アンケートでは1,870部)

P : 母比率 (50%が最大値)

$\pm 1.96$  : 信頼度95%における係数

※国においては、信頼度95%以上、標本誤差5%以内となることが望ましいとしている。

※本アンケートの回答率を上記計算式に当てはめた場合、信頼度95%において標本誤差1.75%以内との結果が得られる。

出典：総務省統計局ホームページ

(参考) アンケート用紙及び基本計画(案)の概要

町民の皆様へのお願い

## 川西町新庁舎整備基本計画(案)に係るアンケート

現役場庁舎は、平成26年度に実施しました耐震診断の結果、震度6強の地震で倒壊する恐れがあると判明し、また、施設や設備の老朽化、狭あい化等による町民サービスの機能の低下などの課題を抱えています。

このような現状を踏まえ、町では平成27年度から庁舎建設基金の積み立てを開始し、平成28年度からスタートした第5次川西町総合計画に「町民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる新庁舎の早期整備」を掲げ、計画期間内の事業化を目指してきたところです。

こうした中、国において、耐震性が不足している役場の建て替えを支援する「市町村役場機能緊急保全事業(平成29年度から平成32年度まで)」を本年度創設したことから、町では、将来の財政負担の軽減も考慮し、国の支援事業を活用し、支援期間内での役場新庁舎の整備を計画しています。

このたび、役場新庁舎の整備に向けた町の考え方を「川西町新庁舎整備基本計画(案)の概要」(別紙)としてとりまとめ、町民の皆様から広くご意見をいただくため、町内の全世帯を対象にアンケートを行うこととしました。

お忙しい中大変恐縮ですが、皆様からいただいたご意見を今後の取り組みに反映していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

平成29年9月

川西町長 原 田 俊 二

### 【アンケートの概要】

- ・対象者 町内の全世帯(世帯を代表して、どなたからご回答いただいても結構です。)
- ・回答方法 同封されている「川西町新庁舎整備基本計画(案)の概要」をご覧ください、ご回答ください。
- ・提出方法 同送されている返信用封筒(切手不要)に入れてポストに投函してください。このほか、町役場または各地区交流センターにご持参いただいても結構です。

**・ 締 切 平成29年10月13日(金)まで投函または持参してください。**

- ・その他 ①このアンケートは匿名形式であり、記入された内容について個人が特定されることはありません。  
②調査結果は、町報や町ホームページで公表する予定です。
- ・問合せ先 川西町役場 未来創造室(電話:0238-42-6604)

【最初に、ご回答される方についてお伺いします。】

1. あなたのお住いの地区について、該当するものに○をつけてください。

- ① 小松 ② 大塚 ③ 犬川 ④ 中郡 ⑤ 玉庭 ⑥ 東沢 ⑦ 吉島

2. あなたの性別について、該当するものに○をつけてください。

- ① 男性 ② 女性

3. あなたの年齢について、該当するものに○をつけてください。

- ① 20歳代以下 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代 ⑥ 70歳代以上

4. あなたの職業について、該当するものに○をつけてください。

- ① 農林業 ② 自営業 ③ 会社員 ④ 公務員・団体職員 ⑤ 学生  
⑥ 専業主婦・主夫 ⑦ パート・アルバイト ⑧ 無職 ⑨ その他( )

5. 役場へはどのくらいの頻度で訪れますか？該当するものに○をつけてください。

- ① ほぼ毎日 ② 週に1回程度 ③ 月に1回程度 ④ 年に1回程度  
⑤ 行ったことがない ⑥ その他( )

6. 主にどのような用事で役場を訪れますか？該当するもの全てに○をつけてください。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ① 戸籍・住民に関すること    | ② 税に関すること     |
| ③ 年金に関すること       | ④ 介護・福祉に関すること |
| ⑤ 健康・医療に関すること    | ⑥ 子育てに関すること   |
| ⑦ 教育に関すること       | ⑧ 地域活動に関すること  |
| ⑨ 農林業に関すること      | ⑩ 商工業に関すること   |
| ⑪ 土木・上下水道に関すること  | ⑫ 議会に関すること    |
| ⑬ 会議・打ち合わせに関すること | ⑭ 仕事に関すること    |
| ⑮ その他( )         |               |

7. 役場に来る際に最も利用する交通手段は何ですか？該当するものに○をつけてください。

- ① 自家用車 ② 徒歩 ③ 自転車 ④ 鉄道 ⑤ バス ⑥ バイク  
⑦ タクシー ⑧ デマンドタクシー ⑨ その他( )



問4 現庁舎地の跡地利用について、ご意見をお聞かせください。

(自由記入欄)

問5 その他、川西町新庁舎整備基本計画(案)全体について、ご意見をお聞かせください。

(自由記入欄)

質問は以上で終了です。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

# 川西町新庁舎整備基本計画(案) の概要

①

## 【現状と課題】

### ①耐震性の不足

- ・平成26年度に耐震診断を実施  
結果：「震度6強の地震で崩壊、倒壊の危険性が高い」
- ・災害時に各種証明書が発行できないなど、町民の円滑な生活復興に悪影響を生む可能性

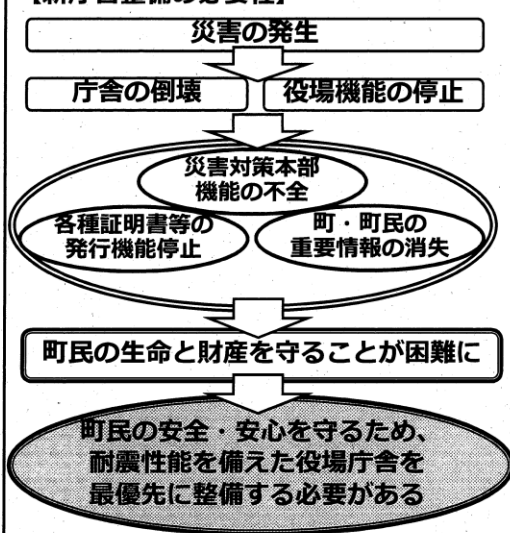
### ②施設・設備の老朽化

- ・老朽化の進行により、安全面に悪影響を及ぼしている
- ・部分的な修繕では抜本的な解決が困難な状況にある
- ・高齢者・障がい者等に配慮した機能（エレベーター等）が不足している

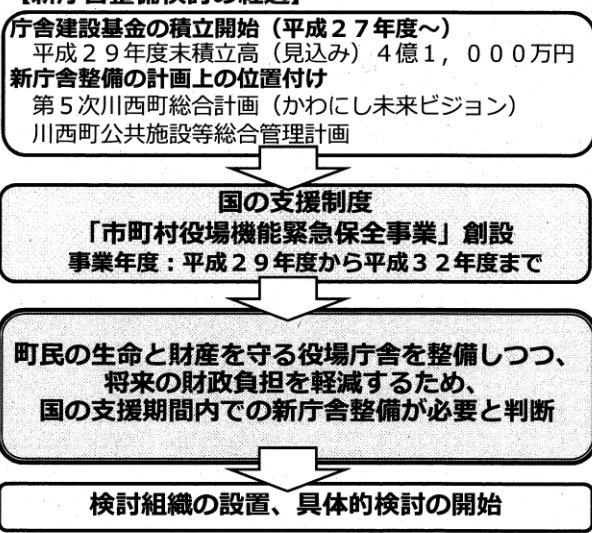
### ③施設の分散化・狭隘化による町民サービス機能の低下

- ・役場事務所の分散（分庁舎、中央公民館、川西町交流館）
- ・分散化、狭隘化により、町民サービス機能が低下  
（効率的な事務執行、ワンストップサービス、プライバシーの保護等）
- ・狭い駐車場 ・会議室等の不足

## 【新庁舎整備の必要性】



## 【新庁舎整備検討の経過】



## 【新庁舎整備の基本理念、基本方針】

役場は、町民の生命と財産を守り、町民の安全・安心の確保や発災時における円滑な復旧・復興に向けた拠点となります。また、本町が町民と協力して進める「協働のまちづくり」を推進するための拠点としても位置付けられます。さらに、町民の暮らしに直結する行政サービスを切れ目なく提供し、町民の利便性を確保するために、町民から親しまれる役場であることが求められます。

これらのことから、円滑な役場業務を遂行するための庁舎は、災害に強く、町民に親しまれる庁舎であることが必要であり、これを実現するため基本理念と基本方針を次のように設定します。

### 【基本理念】

町民の安全・安心を守り協働のまちづくりを推進する拠点

### 【基本方針】

- ①町民の暮らしを守る庁舎
- ②町民にひらかれた利用しやすい庁舎
- ③ひとと環境にやさしい庁舎
- ④効率的で機能性・経済性の高い庁舎

【基本理念、基本方針及び基本的機能の体系】

②

基本理念	基本方針	基本的機能
町民の安全・安心を守り協働のまちづくりを推進する拠点	<p><b>(1) 町民の暮らしを守る庁舎</b></p> <p>町民の生命と財産を守り、安全・安心の確保や発災時における円滑な復旧・復興を図るため、十分な耐震性・安全性を備え、発災時に迅速に対応できる災害対策本部機能を持った庁舎とします。</p>	<p>①耐震性・安全性の確保 ア 耐震強度の確保</p> <p>②防災機能の確保 ア 災害対策本部の設置 イ 防災機器の充実 ウ 災害時の庁舎ライフラインの確保 エ 業務継続計画を担保できる庁舎</p>
	<p><b>(2) 町民にひらかれた利用しやすい庁舎</b></p> <p>役場機能を集約し、来庁者の動線に配慮した利用しやすい配置とします。また、協働のまちづくりを推進するため、町と町民が相互に情報発信・交流するための拠点を整備します。</p>	<p>①行政機能の集約 ア 役場事務所の集約 イ 窓口、案内機能の向上</p> <p>②情報発信・交流機能の充実 ア 情報発信機能の向上 イ 交流空間の確保</p> <p>③議会の機能 ア 議会の機能</p>
	<p><b>(3) ひとと環境にやさしい庁舎</b></p> <p>来庁者が安心して利用できるための機能を整備するとともに、地球環境に配慮した庁舎を目指します。</p>	<p>①ひとにやさしい機能の充実 ア 相談機能、プライバシーへの配慮 イ 利用者への配慮</p> <p>②ユニバーサルデザインの導入 ア 誰もが安心して利用できる構造 イ 駐車場の配慮 ウ 雪対策の徹底</p> <p>③省エネルギー・省資源への配慮 ア 自然エネルギー、自然素材の活用 イ 効率的な設備の導入</p>
	<p><b>(4) 効率的で機能性・経済性の高い庁舎</b></p> <p>将来の行政需要の変化を踏まえつつ、効率的な行政サービスが提供できる庁舎とします。また、シンプルで機能的なデザインの庁舎とし、建設コストやライフサイクルコストに十分配慮します。</p>	<p>①執務環境の効率化 ア 働きやすい執務環境 イ 文書・情報管理の適正化 ウ 可変性・拡張性の確保</p> <p>②建設・管理コストの縮減 ア 建設コストの抑制 イ 管理コストの縮減 ウ ライフサイクルコストの低減</p>

**【新庁舎建設地】**

**(1) 新庁舎の位置を検討する際の基本的な考え方**

- ① 地方自治法第4条第2項への準拠
- ② 国の支援制度の期限までに完了すること
- ③ 多大な用地費等が発生しないこと

**(2) 新庁舎建設地及び選定理由**

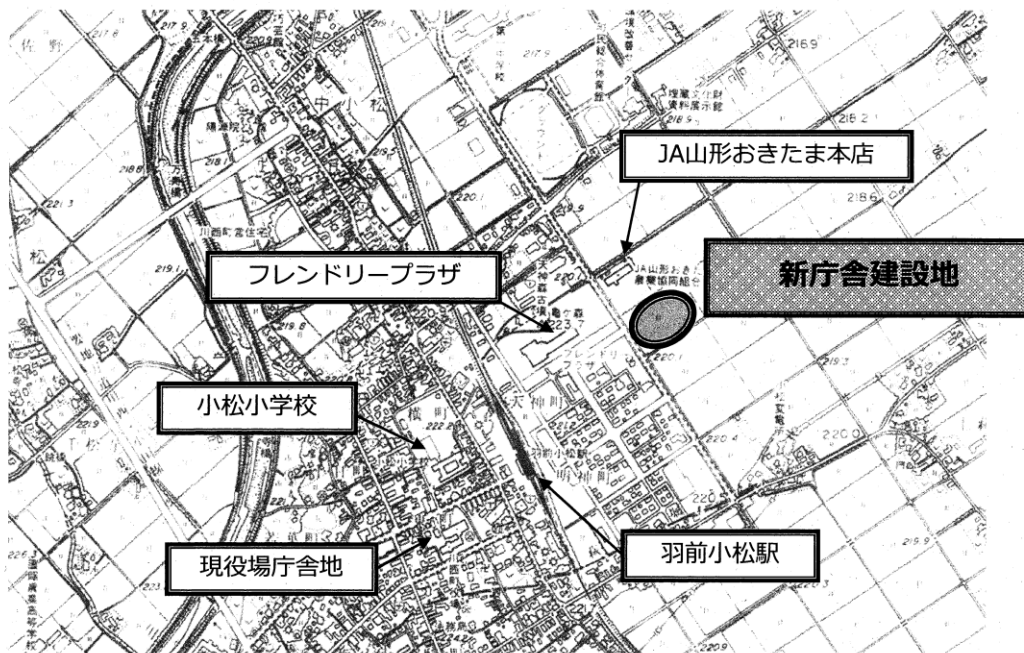
新庁舎建設地については、「山形おきたま農業協同組合本店の南側隣接地（JA本店南側隣接地）」とします。

**【選定理由】**

- ア 新庁舎の位置を検討する際の基本的な考え方に基づき「現役場庁舎地」と「JA本店南側隣接地」を候補地として絞り込み、実現性・経済性・まちづくりの観点で比較検討した結果、「JA本店南側隣接地」がより円滑な庁舎整備が可能であること
- イ 羽前小松駅からの距離、交通アクセスの利便性、フレンドリープラザとの一体性及び将来の川西町全体のまちづくりの発展が期待できること

**(3) 新庁舎建設地の将来性**

- 交通アクセスの利便性：町道小松駅東線、JR羽前小松駅、国道287号線等
- 周辺施設との連携：フレンドリープラザ、町総合体育館、農村環境改善センター等
- 広く平坦な土地：防災機能の確保、高齢者等に配慮した機能の整備、十分な駐車スペースの確保が可能
- 国道287号線川西バイパス整備等による町内アクセスの形成による小松地区及び町全体の発展可能性



**【現庁舎地の跡地利用】**

新庁舎の移転に伴う現庁舎地の跡地利用については、現庁舎の解体のみならず、現庁舎に隣接する中央公民館のあり方と一体的に検討していく必要があります。

跡地利用のあり方については、小松地区交流センターの整備を含め、中心市街地の活性化を図るための検討を進めていきます。



④

## 【新庁舎の規模・階層・構造等】

新庁舎の規模や階層、構造等については、現状や新庁舎に必要となるスペース（情報発信、交流空間の充実、会議室の確保、ユニバーサルデザインの導入等）、安全性、建設コスト等を踏まえ、以下を基本とします。

項目	規模・構造等の目安
新庁舎の規模（延床面積）	4,500㎡
新庁舎の階層	3階建
新庁舎の構造	鉄筋コンクリート造（RC造）、耐震構造
駐車台数	260台

## 【概算事業費と財源】

## (1) 概算事業費

概算事業費は、国の単価を基本に、労務単価の上昇や消費税アップ等を見込み、以下のとおり想定します。

※ひとつの目安であり、今後、事業費の縮減に向けて取り組んでいきます。

区分	概算事業費	備考
本体工事	22.5億円	建築工事、電気設備工事、機械設備工事
その他	13.7億円	外構工事、車庫等工事、解体工事、設計監理費、用地取得・造成、その他
計	36.2億円	

## (2) 財源

平成32年度までの期限付き支援事業である「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し、財政負担の軽減を目指していきます（借入金の一部が地方交付税で補てんされます）。

なお、この他に利用可能な補助事業等についても積極的に活用を検討していきます。

## 【整備スケジュール】

国の支援制度の期限である平成32年度までに新庁舎整備を完了させる必要があります。これを踏まえると、スケジュールは以下のようになります。

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
基本計画	→				
基本設計		→			
実施設計			→		
用地造成			→		
本体工事				→	
外構工事				→	
解体工事					→

#### 4 川西町新庁舎整備基本計画（案）に係る各地区説明会の開催概要

##### (1) 開催状況

地区名	日時	会場	参加者数	町出席者
吉島地区	9月28日(木) 19時00分～ 20時25分	吉島地区交流センター	20名	町長 副町長 未来創造室長 総務課長 税務会計課長 事務局
犬川地区	10月2日(月) 19時00分～ 20時00分	犬川地区交流センター	13名	町長 未来創造室長 未来づくり課長 税務会計課長 産業振興課長 事務局
玉庭地区	10月3日(火) 19時00分～ 20時10分	玉庭地区交流センター	21名	町長 未来創造室長 未来づくり課長 地域整備課長 事務局
大塚地区	10月5日(木) 19時00分～ 20時10分	大塚地区交流センター	6名	町長 副町長 未来創造室長 地域整備課長 教育総務課長 事務局
中郡地区	10月6日(金) 19時00分～ 20時25分	中郡地区交流センター	12名	町長 未来創造室長 総務課長 教育総務課長 事務局
小松地区	10月9日(月・ 祝) 19時00分～ 20時30分	川西町中央公民館	44名	町長 副町長 未来創造室長 事務局
東沢地区	10月10日(火) 19時00分～ 20時30分	東沢活性化センター	10名	町長 副町長 未来創造室長 産業振興課長 事務局
計			126名	

## (2) 主な質疑内容

### ①機能について

質問・意見・要望等	回答
非常時の電源の確保や雪に負けない庁舎にしてほしい。	電源確保や雪対策は必ず必要と考えている。
ライフラインの容量はどれくらいか。	3日間を目安と考えている。
屋上に避難できるようになるとよい。	要望としてお聞きする。
新庁舎に案内係を置いてほしい。	要望としてお聞きする。
是非広い駐車場を確保してほしい。	十分な駐車スペースを確保していく。
分散化によるサービス低下とは具体的に何か。	例えば住民票は本庁舎、農林関係の相談は第2分庁舎、子育て関係の相談は中央公民館と分散しているため、利便性が低いと捉えている。
階層について、1階に機能を集約した場合、2階と3階はどうなるのか。	具体的な検討は基本設計段階になるが、1階は町民の利用度が高い業務はできるだけ集約したい。2階や3階は総務部門や議場等が可能性として考えられる。
食堂の設置など、役場に行く楽しみができるような庁舎になるとよい。	今後様々な御意見をいただきながら検討していく。
ユニバーサルデザインが具体的にイメージできない。	誰でも分け隔てなく利用できる施設としていく。
新庁舎は障がい者にも利用しやすい庁舎にしてほしい。	御意見を十分に踏まえた庁舎としていく。
自然環境への配慮等、川西町の特徴を持った庁舎してほしい。	特徴については、今後十分に御意見をいただきながら検討していく。
スノードームの雪冷房を新庁舎の空調に活用できないか。	スノードームについては、フレンドリープラザの空調で容量全てを使用している。
新庁舎にヘリポートの設置をお願いしたい。	要望としてお聞きする。
あそこが庁舎だとわかるようなデザインにしてほしい。	基本設計において、デザインについても様々な御意見をいただければと考えている。
機能の複合化は検討したか。	複合化についても検討したが、今回国が示した支援事業は役場庁舎に対するものであり、期限が限られているため、庁舎整備を優先して検討している。
将来の増築も視野に検討をしてほしい	要望としてお聞きする。
庁舎とともに保育所や診療所などが1ヶ所にまとまると非常に便利がよい。	国の支援事業が役場庁舎に限定されているため、現在は庁舎を先行して検討している。他の施設整備のあり方については、御意見を踏まえて検討を進めていく。

## ②位置について

質問・意見・要望等	回答
小松地区内に整備する前提のもと検討してきたのか。	小松地区に限らず検討を行ってきた。結果として、地方自治法第4条第2項への準拠に照らし合わせ、小松地区内に絞り込んだ。
多目的グラウンドや旧埋蔵文化財資料館跡地は検討したか。	御指摘の町有地も検討したが、町道や下水道等の周辺環境整備が別途必要になる他、中心地からの距離等、まちづくりの観点から候補地となり得なかった。
町民体育館隣の方が適地ではないのか。	体育館東側の土地も検討したが、まちづくりの観点から困難であると判断した。また、当該地は下水道が通っておらず、仮設住宅の場合はトイレが課題となり、インフラとして不十分な状況にある。
小松地区の商工業のためにも、3階建を4階建にするなどして現在地に整備してほしい。	現庁舎での整備のパターンは複数検討してきたが、金額面の他にも、家屋移転等には数年を必要とすることや、中央公民館の解体、電源装置の移設、会議スペースの確保等の課題があり、役場業務を継続して建設するにはハードルが高いと考えている。商工業の発展は大きな課題と認識しており、跡地利用の中で小松地区のにぎわいづくりを検討していきたい。
建設地として、フレンドリープラザ北のJA倉庫はいかがか。	JA倉庫については、JAとの協議等が必要となり、限られた期間内に整備するのは困難である。
用地について、地権者との話し合いはどのようになっているのか。	地権者からは、整備位置の検討に当該地を入れることについて了解を受けている。具体的な話し合いは基本計画策定後を想定している。

### ③規模について

質問・意見・要望等	回答
新庁舎の規模は、大きさとして十分なのか。	現在使用しているスペースが約4,060㎡あり、交流スペースやエレベーター等の機能を加えることを想定し、目安として4,500㎡と設定した。
規模について、人口減少が進む中、現在よりずっと縮小して、中身のある庁舎にしてほしい。	
整備位置について、現在利用している1万㎡は確保しているか。	約1万2千㎡を想定している。
整備位置の敷地面積について、なぜ現状より増えるのか。	現在地は、特に冬季は雪により駐車場が狭くなるため役場利用者に不便をきたしており、除雪・排雪を考えると現在より広い敷地が望ましいと考えている。

### ④構造について

質問・意見・要望等	回答
耐震強度について、国の基準の最高レベルとはどれくらいか。	国においては、震度6強の地震に耐えることができる構造の1.5倍の水準が現行の最高水準である。
鉄筋コンクリート造とはどのようなものか。	柱や床、壁などの鉄筋を組み立て、型枠にコンクリートを流し込んで形成する構造。

### ⑤周辺環境整備について

質問・意見・要望等	回答
羽前小松駅に通路を作ってほしい。	課題として捉えている。
庁舎整備に合わせて、踏切の東に取り付け道路を作ってほしい。	要望としてお聞きする。
玉庭から候補地へ行く際、線路が狭く不便であるため、交通アクセスを改善してほしい。	課題として捉えている。

## ⑥事業費、財源について

質問・意見・要望等	回答
用地購入費はどれくらいか。	不動産鑑定を行い、適正価格を検討していく。
今の役場の解体費はどれくらいを見込んでいるか。	解体費については、本庁舎部分で約8千万円を想定している。中央公民館を含めた全体では約1億8千万円を想定している。
今後50年後くらいは新たに建てられないので、財政的に少し頑張ってもいい庁舎を作ってほしい。	規模や事業費については上限値という考えである。今後、費用対効果を考えながら進めていく。
国からの支援は、どの経費に対するものか。	庁舎本体の他、外構の一部等が該当となると考えている。
国の支援制度には防災設備に対するの支援もあると聞いたが、活用できるのか。	防災設備についての支援制度はあるが、現行制度では役場庁舎は対象とならない。
財源について、現時点で活用を検討している補助事業はあるか。	エネルギー関係や木材活用等の観点から、環境省や林野庁の補助金を想定しているが、維持管理経費等も踏まえて検討していきたい。
国の支援も結局は国民の税金であり、国としても財政の立て直しに苦勞している中、町も国からの助成をなるべく受けないようにするべき。	国の交付税も貴重な税金であることを意識しながら、今は現行のルールに従って最善の形で進めていきたいと考えている。
新庁舎整備に係る借金の返済は、いつ終わるのか。	30年間での償還を予定している。
人口が減ることで、一人当たりの負担が増加して、町外に出ていくという悪循環に陥るのではないか。	現在、人口は減少しているが、町の財政規模は地方交付税措置等により大きく変わってはいない。国の動きを注視しつつ、今後の事業についても先々を見据えながら進めていきたい。

⑦その他

質問・意見・要望等	回答
アンケートにおいて、建て替えや整備位置への反対が多かったら、もう一度検討し直すのか。	建て替えについては8割以上、整備位置については7割以上の方が妥当と回答いただいていることを踏まえ、町としては案について御理解いただきたいと考えている。
中央公民館についてはどのように考えているのか。	小松地区交流センターのあり方や、中心市街地のにぎわいづくりの観点と併せて検討していく。
庁舎以外で耐震性を指摘されている施設はあるのか。	昭和56年以前に建設した施設について耐震診断の指示が出ており、現在は町民体育館を診断している。
これまでの会議の内容等をフェイスブックにアップしてほしい。	今後、ホームページやフェイスブック等で公開していく。
ワークショップはいつ頃にやるのか。また、地区別で開催するのか。	基本設計業者が決まってからになるため、年明け以降を想定している。 また、共通情報の中で検討いただくことが重要であるため、地区別ではなく、一同に会する形で開催したいと考えている。
庁舎の設計を検討するに当たり、他の自治体を訪問したか。	現在庁舎整備を進めている県内自治体や、整備が完了した県外の自治体等へ調査を行い、情報収集を行っている。
これまで検討してきた内容を一覧表にして公表できないか。	今後検討してゆく。
新庁舎整備における、まちづくりの大きな未来像が見えない。	新庁舎については、限られた期間の中で整備を行うことを主眼としている。 まちづくり全体のビジョンについては、現庁舎地の跡地利用も含めて様々な御意見をいただきながら進めていく。
候補地は置賜の中心になる場所だと思う。中心的な機能を生かせる構造を検討いただけるとよいと思う。	様々な御意見をいただきながら、まちづくりの観点で検討していきたい。